

1. 慈尊院地区の堤防における整備テーマ

これまでの委員会において、紀の川慈尊院地区の歴史、地域特性、周辺景観、河川環境などの現地状況を踏まえ、「河川(治水)」、「歴史」、「風土・文化」、「自然生態系」の項目に対して堤防整備のテーマを設定した。

慈尊院地区の現地状況

周辺の歴史、史跡

→ 高野山町石道や慈尊院などの世界遺産がある。



地域の風土、文化

→ 伝統ある官省符祭、果樹園が広がる風景がある。



景観

→ 高野山参詣の起点の地としての景観がある。



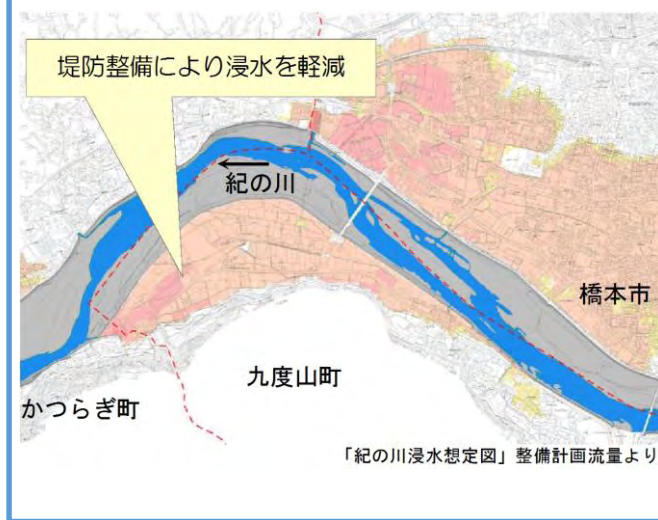
河川環境

→ 連続性や多様性のある紀の川がある。



堤防整備

- ・ 治水安全度を確保するための堤防整備
- ・ 現状の河川環境を極力改変しない堤防整備



慈尊院地区の堤防整備方針(テーマ)

1. 慈尊院地区の堤防における整備テーマ

これまでの委員会において、紀の川慈尊院地区の歴史、地域特性、周辺景観、河川環境などの現地状況を踏まえ、「河川(治水)」、「歴史」、「風土・文化」、「自然生態系」の項目に対して堤防整備のテーマを設定した。

河川(治水)

- 安全で安心して暮らせる紀の川の整備
- 河道湾曲部の広大な河原、自然豊かな河川らしい景観の保全

安全で安心して暮らせる堤防と川らしい景観

歴史

- 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」のひとつ高野山参詣起点の地である、慈尊院や九度山を背景とした景観の保全と歴史の継承
- 戦国時代の武将“真田幸村”にまつわる寺社などの歴史的建造物や史跡のある九度山町の市街地の景観

高野山参詣起点の地として、歴史を育む景観

風土・文化

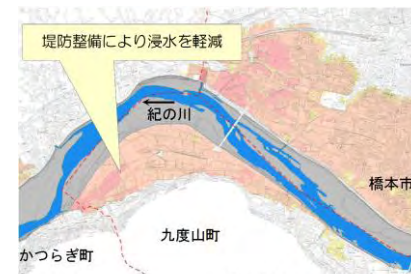
- 歴史に根付いたまちづくり、紀の川の水辺に集う官省符祭の継承
- 柿やももなどの果樹栽培を主とした九度山町の産業

地域の歴史に根付いた風土・文化をつなぐ堤防づくり

自然生態系

- 鮎の生息地となる広大な湾曲部の河原、縦断的に連続する瀬や淵石や横断的な水際のエコトーンなど、連続性や多様性のある川の流れ

川の流れを変えない自然豊かな景観



「紀の川浸水想定図」整備計画図表より



2. 堤防整備のテーマを踏まえたゾーニング

堤防整備の項目(テーマ)について対象エリアを設定し、ゾーニングを行った。

ゾーン1 紀の川の地域文化を育む堤防整備ゾーン 【河川(治水)】、【風土・文化】、【自然生態系】

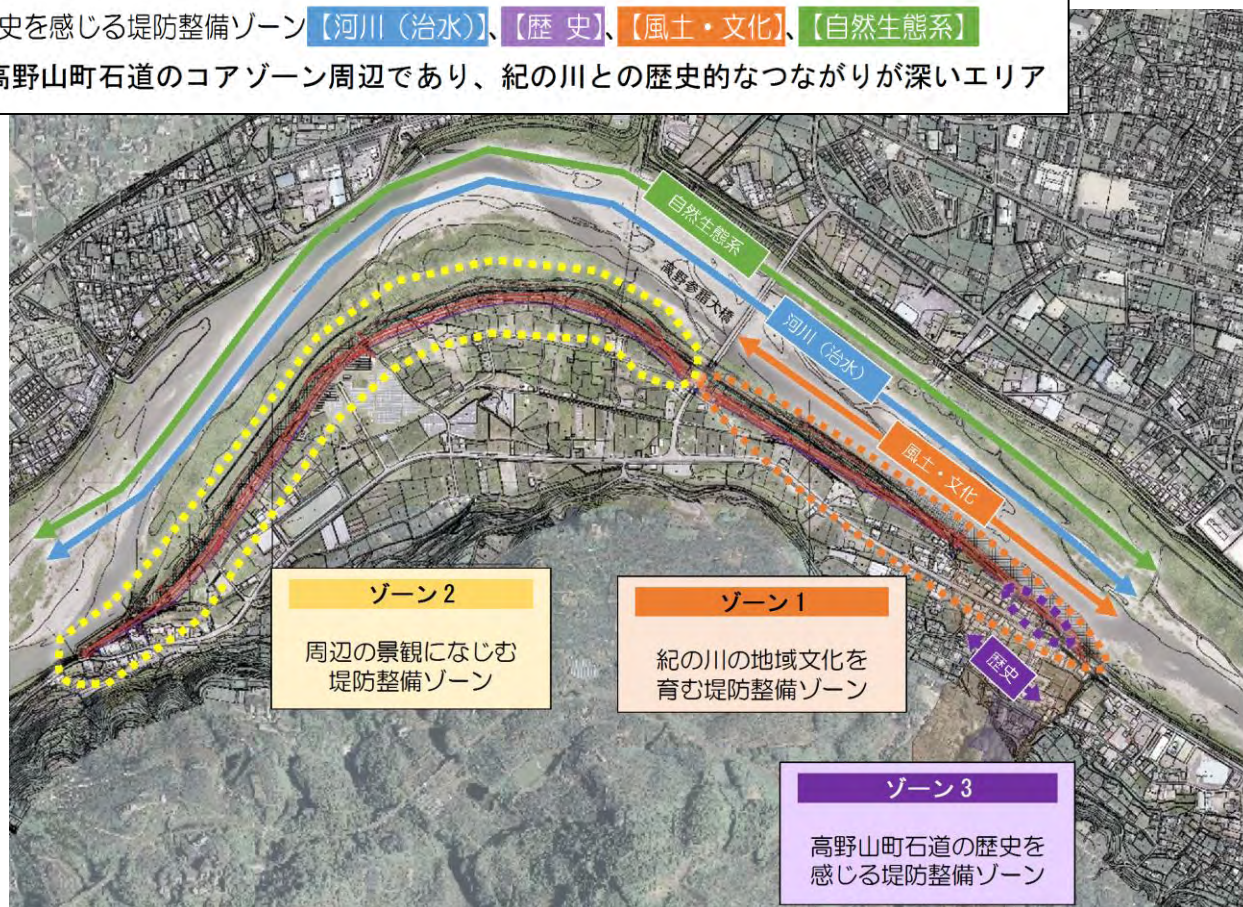
家屋や旧道に隣接して堤防が整備される地域住民との親密度が深いエリア

ゾーン2 周辺の景観になじむ堤防整備ゾーン 【河川(治水)】、【自然生態系】

背後地の果樹園の風景と河川の自然生態系との調和に配慮するエリア

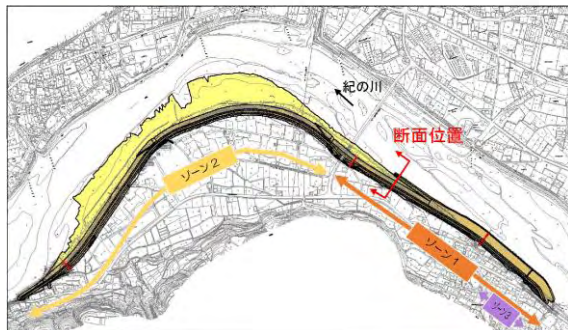
ゾーン3 高野山町石道の歴史を感じる堤防整備ゾーン 【河川(治水)】、【歴史】、【風土・文化】、【自然生態系】

「世界遺産」高野山町石道のコアゾーン周辺であり、紀の川との歴史的なつながりが深いエリア



3. ゾーンごとの堤防断面イメージ

ゾーン1 紀の川の地域文化を育む堤防整備ゾーン 【河川（治水）】、【風土・文化】、【自然生態系】



①安心・安全な堤防・護岸整備

堤防の強度を確保するため、斜面に張芝を行う。



②観光資産へのアクセスの整備

景観に配慮した高野山町石道～高野参詣大橋へのアクセスを整備する。



③親水性に配慮した水際へのアクセスの整備

官省符祭りの祭礼場、アユ釣りのための水辺へのアクセス(幅広階段)を整備する。



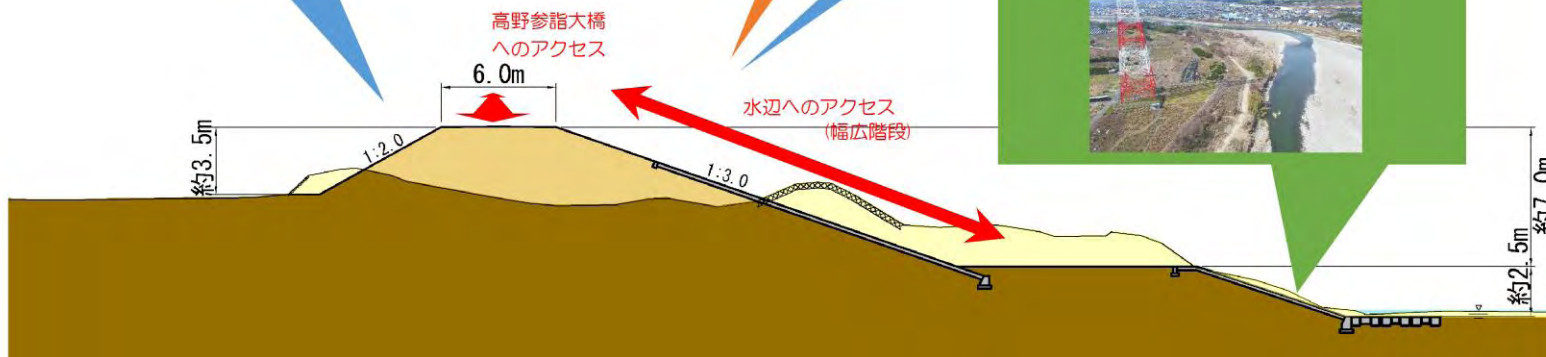
④安心・安全な堤防・護岸整備

洪水に対する治水安全度を確保するため、堤防・護岸の整備、及び河道掘削を行うとともに、流水の阻害を改善するために必要に応じて樹木伐採を行う。



⑤河川環境を保全した河道掘削

平水位(常時の水位)よりも上部を掘削する計画とし、水際の河川環境を極力改变しない。



3. ゾーンごとの堤防断面イメージ

ゾーン2 周辺の景観になじむ堤防整備ゾーン

【河川（治水）】、【自然生態系】

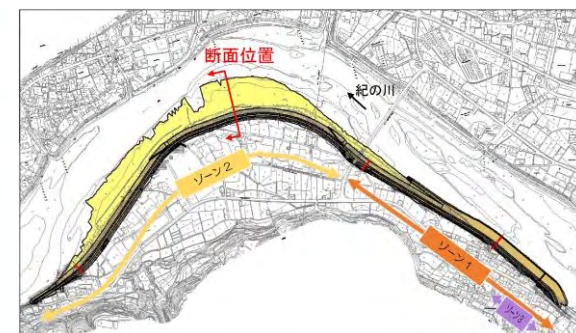
①安心・安全な堤防・護岸整備

堤防の強度を確保するため、斜面に張芝を行う。



②安心・安全な堤防・護岸整備

洪水に対する治水安全度を確保するため、堤防・護岸の整備、及び河道掘削を行うとともに、流水の阻害を改善するために必要に応じて樹木伐採を行う。

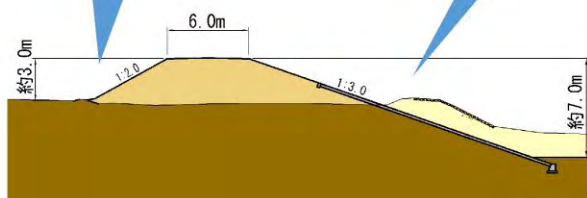


③河川環境を保全した河道掘削

平水位（常時の水位）よりも上部を掘削する計画とし、水際の河川環境を極力変更しない。



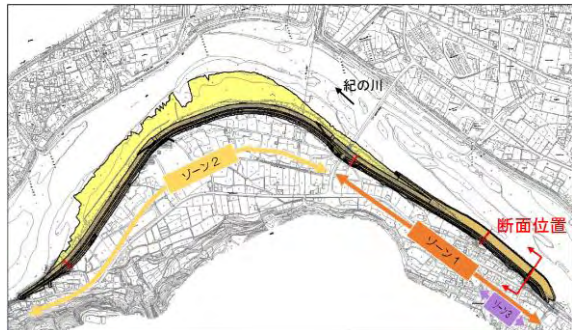
平水位上部の河道掘削



3. ゾーンごとの堤防断面イメージ

ゾーン3 高野山町石道の歴史を感じる堤防整備ゾーン

【河川(治水)】、【歴史】、【風土・文化】、【自然生態系】



①安心・安全な堤防・護岸整備

堤防の強度を確保するため、斜面に張芝を行う。



②紀の川につながる参詣道の整備

高野山への参詣道(町石道)の石畳を紀の川までつなげる。



現在の紀の川の河道内に慈尊院があったことなどの歴史を解説するサインを設置する。

紀の川の水辺に船着き場があったことを想起させるデザインを堤外側斜面に施す。



③五輪塔卒塔婆へのアクセスの整備

堤防天端から五輪塔卒塔婆へのアクセスを整備する。



④安心・安全な堤防・護岸整備

洪水に対する治水安全度を確保するため、堤防・護岸の整備、及び河道掘削を行うとともに、流水の阻害を改善するために必要に応じて樹木伐採を行う。

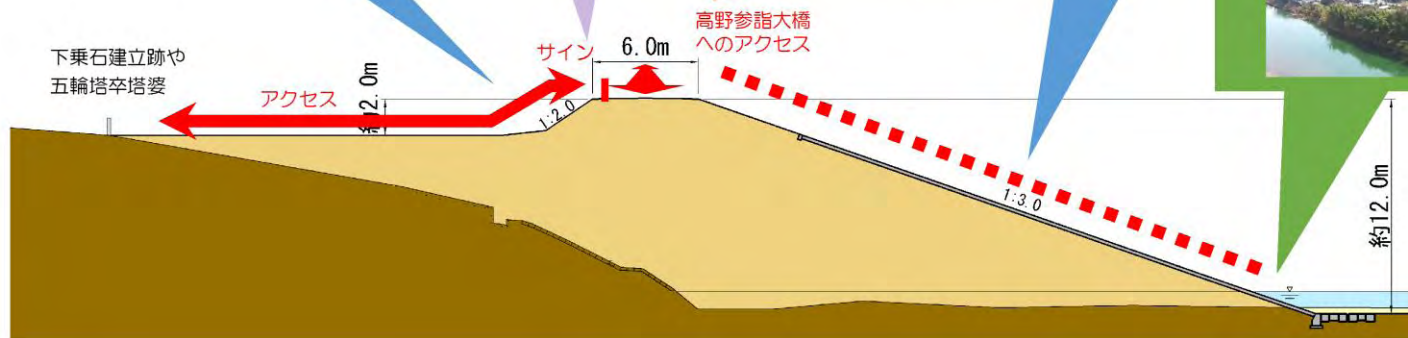


⑤観光資産へのアクセスの整備

景観に配慮した高野山町石道～高野参詣大橋へのアクセスを整備する。

⑥河川環境を保全した堤防整備

現況の瀬の姿を残す堤防整備を行う。



4. ゾーン1,2の堤防整備メニュー

ゾーン1,2の堤防の堤防整備メニューを示す。

ゾーン1 紀の川の地域文化を育む堤防整備ゾーン
 ゾーン2 周辺の景観になじむ堤防整備ゾーン

堤防の整備メニュー

①河川環境を保全した河道掘削
 平水位(常時の水位)よりも上の部分を掘削する計画とし、水際の河川環境を極力変更しない。

③安心・安全な堤防・護岸整備
 洪水に対する治水安全度を確保するため、堤防・護岸の整備を行う。

⑤安心・安全な堤防・護岸整備
 流水の阻害を改善するために必要に応じて樹木伐採を行う。なお、伐採にあたっては、貴重種等を確認のうえ行う。

②親水性に配慮した水際へのアクセスの整備
 官省符祭りの祭礼場、アユ釣りのための水辺へのアクセス(幅広階段)を整備する。

④観光資産へのアクセスの整備
 景観に配慮した高野参詣大橋へのアクセスを整備する。

⑥河川環境を保全した堤防整備
 現況の瀬の姿を残す堤防計画を行う。



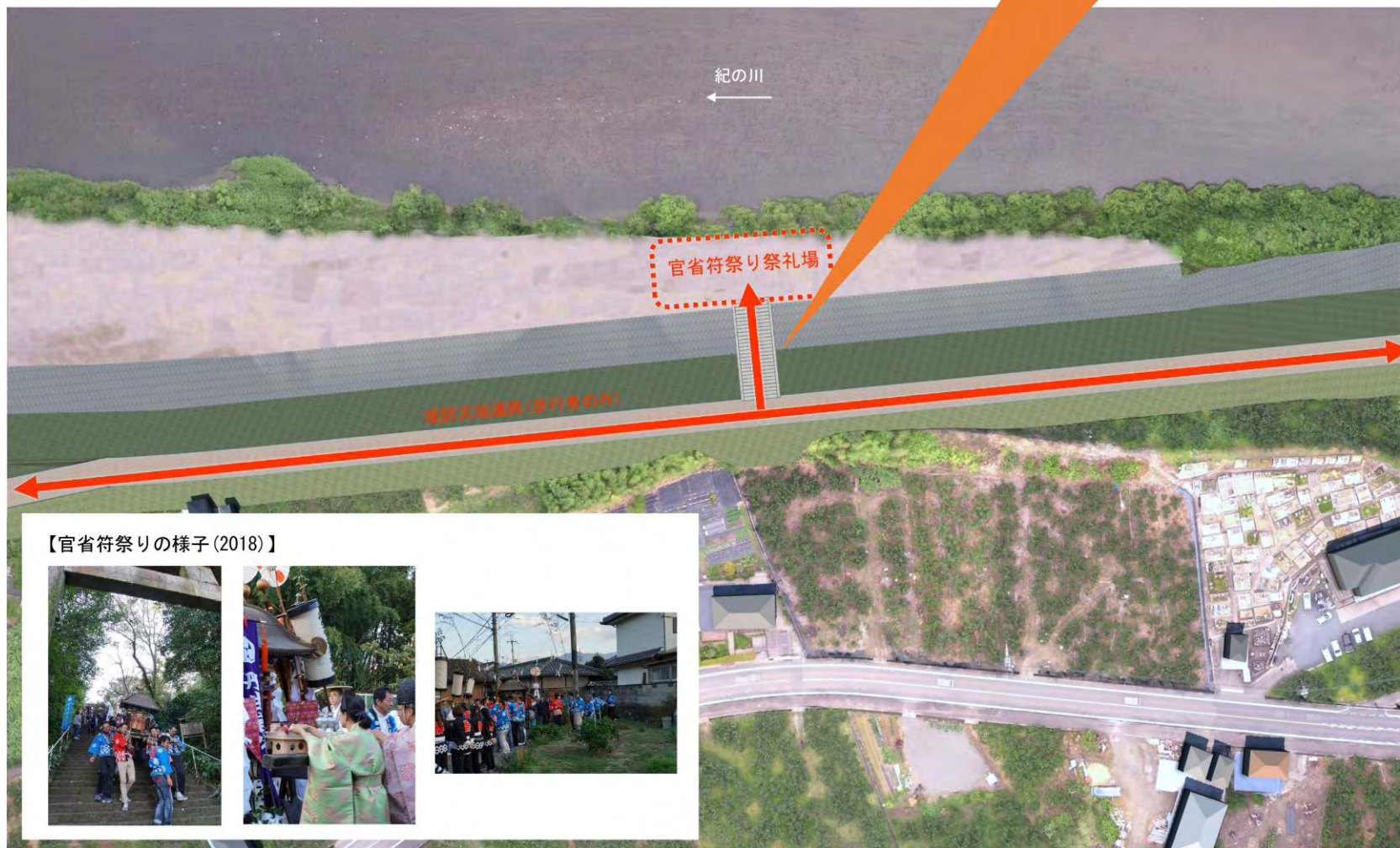
⑦安心・安全な堤防・護岸整備
 堤防の強度を確保するため、斜面に張芝を行う。



4. ゾーン1,2の堤防整備メニュー

ゾーン1 紀の川の地域文化を育む堤防整備ゾーン 水辺へのアクセス部の整備メニュー

①親水性に配慮した水際へのアクセスの整備
官省符祭りの祭礼場、アユ釣りのための水辺へのアクセス(幅広階段)を整備する。



5. ゾーン3の堤防整備メニュー

ゾーン3の堤防の堤防整備メニューを示す。

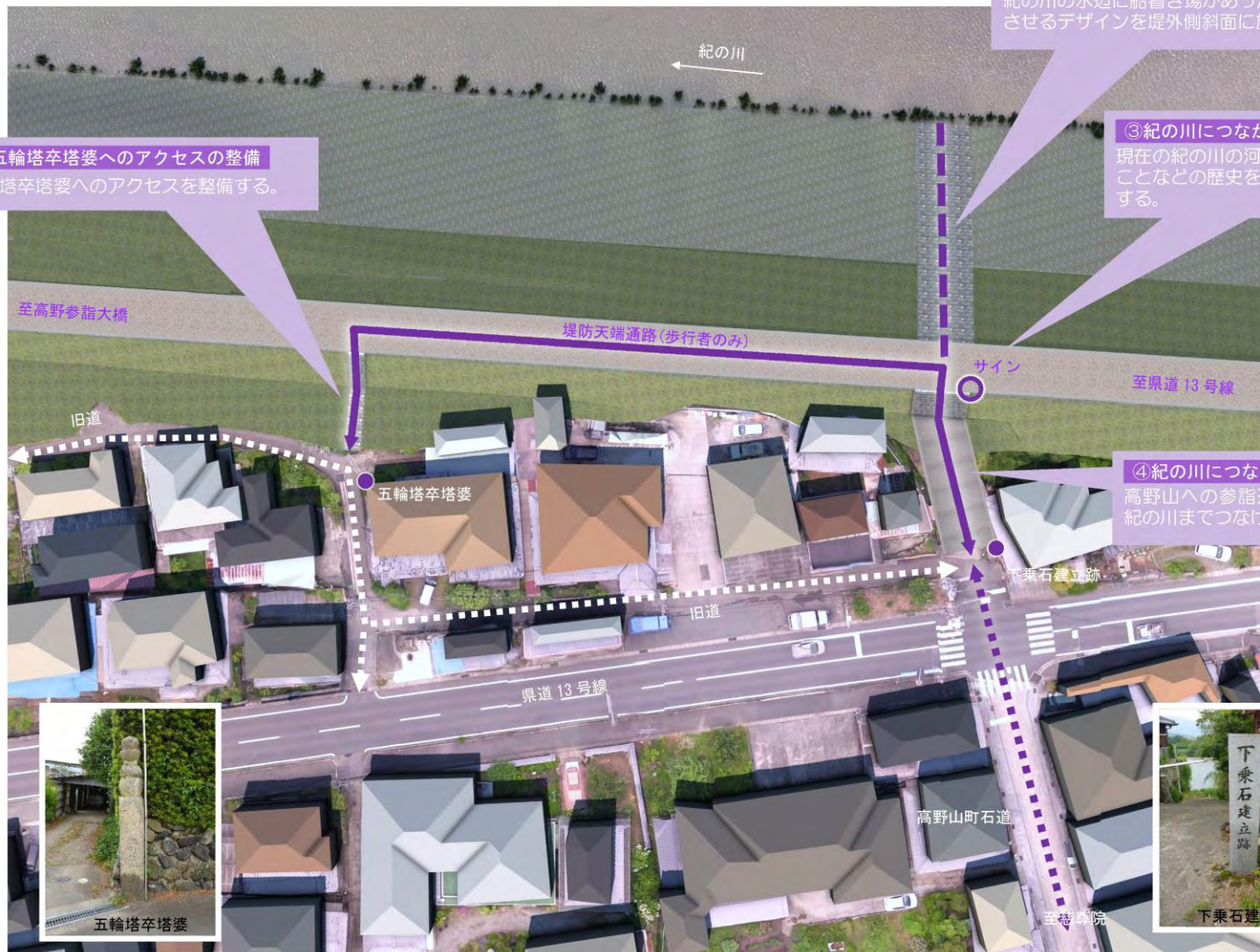
ゾーン3 高野山町石道の歴史を感じる堤防整備ゾーンの整備メニュー

①五輪塔卒塔婆へのアクセスの整備
五輪塔卒塔婆へのアクセスを整備する。

②紀の川につながる参詣道の整備
紀の川の水辺に船着き場があったことを想起させるデザインを堤外側斜面に施す。

③紀の川につながる参詣道の整備
現在の紀の川の河道内に慈尊院があったことなどの歴史を解説するサインを設置する。

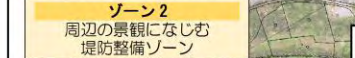
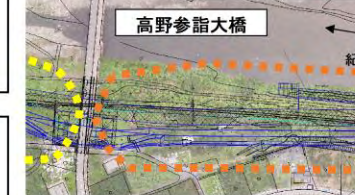
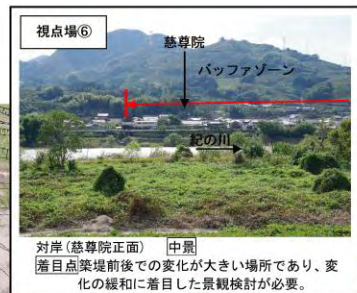
④紀の川につながる参詣道の整備
高野山への参詣道(町石道)の石畳を紀の川までつなげる。



6. 視点場における景観

第2回景観検討委員会で設定した視点場からの整備前後の景観を示す。

■ 景観検討における視点場



6. 視点場における景観

視点場①: 慈尊院北門からの景観

視点場②: 町石道と県道13号交差点からの景観

ゾーン3 【河川(治水)】、【歴史】、【風土・文化】、【自然生態系】

ゾーン3 【河川(治水)】、【歴史】、【風土・文化】、【自然生態系】

項目	整備前	整備後	
		階段案	坂路による段差解消案
内容	—	堤内側堤防斜面に階段を設け、堤防天端へのアクセスを設ける案	堤内側堤防斜面を坂路にして段差を解消し、町石道との連続性を重視したアクセスを設ける案
視点場① 慈尊院北門からの景観			
視点場② 町石道と県道13号交差点からの景観			
通行のしやすさ	現在は約27%の坂路(下り)であり、通行が困難である。	歩行者が堤防天端へアクセスできる。 ○	歩行者に加え車椅子も堤防天端へアクセスできる。(勾配8%以下) ◎
周辺景観との調和	—	慈尊院(町石道)の石畳や階段と同じである。 ○	町石道の景観的連続性が確保できる。 ○
維持管理面	—	必要最小限の施設配置となり、維持管理は容易である。 ○	坂路により目線が上がるため隣接家屋への配慮(目隠し等)が必要である。また、転落防止施設のための車両の進入防止施設が必要となる。 △
経済性	—	○	△
採用候補案	—	◎	—

6. 視点場における景観

視点場③: 嵯峨浜の五輪塔卒塔婆の景観
 視点場A(追加): 民家連担部の景観

ゾーン3 【河川(治水)】、【歴史】、【風土・文化】、【自然生態系】
 ゾーン1 【河川(治水)】、【風土・文化】、【自然生態系】

項目	整備前	整備後
内容	—	堤内側堤防斜面に階段を設け、堤防天端から五輪塔卒塔婆にアクセスを設ける
視点場③ 嵯峨浜の 五輪塔卒塔婆 の景観		
視点場A (追加) 民家連担部 の景観		
通行の しやすさ	—	歩行者の堤防天端へのアクセスが確保できる。
民家と堤防間 の空間	—	堤防との離隔があり開放的な空間となる。
維持管理面	—	必要最小限の施設配置となり、維持管理は容易である。

6. 視点場における景観

ゾーン3 高野山町石道の歴史を感じる堤防整備ゾーンの整備イメージ

【河川（治水）】、【歴史】、【風土・文化】、【自然生態系】



堤防天端の舗装

※堤防天端は、不透水性、かつ管理用車両が走行可能な舗装とする必要がある。

①アスファルト系舗装



顔料を添加した加熱アスファルト混合物を用いた舗装

②土系舗装



砂質土や玉砂利・石灰岩などを骨材とした舗装

6. 視点場における景観

視点場④: バッファゾーンの上流端からの景観

ゾーン1 【河川(治水)】、【風土・文化】、【自然生態系】

	整備前	整備後
整備前後 の景観		

6. 視点場における景観

【護岸について】

堤外側の堤防斜面に設置する護岸については、治水面及び維持管理面を考慮した上で、安全に紀の川の整備計画流量を流すことができる護岸を整備する。

項目	一般的な護岸	コケがついた古くからある寺社の石垣をイメージした護岸	町石などの石材を利用した文化があったことなどを踏まえ、石をイメージした護岸
内容	経済性及び維持管理面で優れる一般的なコンクリートブロック護岸	ポーラスコンクリートでできており、維持管理面、環境面に優れ、護岸や水際の植生が期待できる護岸	石模様のコンクリートでできており、石張り風の仕上がりとなる護岸
護岸ブロックイメージ		 <p>■拡大図</p> 	<p>■擬石の掘りが浅いタイプ</p>  <p>■擬石の掘りが深いタイプ</p> 










6. 視点場における景観

視点場⑤: 高野参詣大橋の休憩施設からの景観

視点場⑥: 慈尊院の対岸からの景観

ゾーン1 【河川(治水)】、【風土・文化】、【自然生態系】

ゾーン3 【河川(治水)】、【歴史】、【風土・文化】、【自然生態系】

項目	整備後		
	ポーラスブロック案	擬石ブロック案(擬石の掘りが浅いタイプ)	石ブロック案(擬石の掘りが深いタイプ)
内容	水際の植生が期待できる維持管理面、環境面に優れるポーラスブロック護岸を設置する案	地域の石材文化に配慮し、擬石の掘りが浅い擬石模様のブロック護岸を設置する案	地域の石材文化に配慮し、擬石の掘りが深い擬石模様のブロック護岸を設置する案
視点場⑤ 高野参詣大橋の休憩施設からの景観			
視点場⑥ 慈尊院の対岸からの景観	 <div data-bbox="266 948 401 1001" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対岸の樹木を伐採した場合</div> 	 <div data-bbox="797 948 933 1001" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対岸の樹木を伐採した場合</div> 	 <div data-bbox="1333 948 1468 1001" style="border: 1px solid black; padding: 2px;">対岸の樹木を伐採した場合</div> 
環境面	明度が低く、景観的調和を図ることができる。通水性があり植生の活着が期待できる。 ◎	石張り護岸の景観となり、地域の石文化と調和を図ることができる。 ○	石張り護岸の景観となり、地域の石文化と調和を図ることができる。 ○
維持管理面	草刈の頻度は少ない。 ○	草刈の必要がない。 ◎	草刈の頻度は少ない。 ○
経済性	◎	○	○
採用候補案	◎	—	—

6. 視点場における景観

視点場B(追加): 勝利寺からの景観

ゾーン1 【河川(治水)】、【風土・文化】、【自然生態系】

	整備前	整備後
視点場B (追加) 勝利寺からの 景観	 A landscape view from Victory Temple before improvement. The foreground shows a grassy hillside with a utility pole and power lines. In the middle ground, there is a cluster of traditional Japanese buildings with dark roofs. The background features a wide river valley, a town, and distant mountains under a clear blue sky.	 A landscape view from Victory Temple after improvement. The scene is very similar to the 'before' image, showing the hillside, buildings, river valley, and mountains. However, there are subtle changes in the vegetation and the overall appearance of the landscape, reflecting the 'improvement' work mentioned in the header.

6. 視点場における景観

(参考): 安賀谷川樋門部の景観

整備後	
内 容	<ul style="list-style-type: none"> 流入河川(安賀谷川)は河川特性上流木が多いことから、治水安全上の観点から異物の紙込みによる不完全閉塞が起りにくいローラーゲートを採用する。(対岸の樋門と同様の形式) 操作室については、基本的に対岸の樋門との統一感のあるデザインとし、アースカラーを基調とし、明度を抑さえた色彩とする。
安賀谷川樋門 の景観	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">紀の川</p> </div> <div style="width: 50%;"> <p>■屋根の種類</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(平屋根)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(切妻屋根)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(R屋根)</p>  </div> </div> <p>■建屋の構造</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(鉄筋コンクリート構造)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(鉄骨構造)</p>  </div> </div> <p>■門柱(コンクリート)の意匠</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(洗い出し仕上げ)</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>(擬石化粧型枠)</p>  </div> </div> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 20px;"> <div style="width: 45%;">  <p style="text-align: center;">紀の川</p> </div> </div>